

学校施設等における吹き付けアスベスト等の 使用実態調査の結果について 文部科学省



文部科学省では、子どもたちなどの安全対策に万全を期すため、平成 17 年 7 月末から「学校施設等における吹き付けアスベスト等使用実態調査」を実施しています。この度、平成 21 年 10 月 1 日時点で学校施設等における使用実態調査が未完了であった 2,485 機関について、平成 22 年 3 月 31 日時点で調査未完了である機関数の状況を取りまとめました。なお、この調査では「石綿等の分析調査の徹底」の通知に基づき、トレモライト等の再分析調査の必要があった機関の状況も含めて調査を実施しています。

概要は、以下の通りです。

1) 調査結果

全学校施設:144,344 機関

調査完了率:99.4%

調査未完了:2,485 機関(平成 21 年 10 月 1 日時点)→904 機関(平成 22 年 3 月 31 日時点)

(904 機関の内訳)

公立学校(幼稚園、小、中、高、中等教育、特別支援、関係施設):568 機関

私立学校(幼稚園、小、中、高、中等教育、特別支援、専修・各種):105 機関

公立社会教育施設:122 機関

公立社会体育施設:76 機関

公立文化施設:32 機関

所管独立行政法人等施設:1 機関

2) 今後の対応

文部科学省は、調査が未完了の機関に対して、通知文を発出し使用実態調査の早期完了の徹底を要請するとともに、国公立小中学校等の対策工事のための補助、及び対策状況等のフォローアップ調査の引き続き実施や各種会議や研修会等で、適切なアスベスト対策について継続的な周知をするとしています。

当社は、アスベスト分析に短納期での対応が可能ですので、お気軽にお問い合わせください。

資料 2010 年 7 月 12 日付 文部科学省報道発表資料

無機分析箇所 守屋貴志